

※一般質問の内容は、議員自身が11月定例会議事録に基づき記述しています。



もちづき のりお
望月 則男
(富岳会)

公用車の運用のDX化について

問 公用車の所有台数は何台で、適正台数の決定はどのように行っているか。

部長 計75台。各課での管理から集中管理体制に変更して半数程度に削減した。旧芝川町との合併があり増えたが、車検に合わせ処分するなどし、現在の台数になっている。

問 使用状況が見える化し、市民に対し示すことで安全性や適正利用について職員の意識向上につながると考えるがいかがか。

部長 ドライブレコーダーはおおむね装備済み。事故等の場合は、事故を起こした職員とともに確認し、検証等を行っている。GPSの登載は、安全運転や適正利用に寄与する可能性やビッグデータを解析することで、人流を把握し、感染症予防対策に役立てるなど、様々な分野で

活用が進んでいるが、運用面、管理する人員の負担等の課題から、現状では導入する予定はない。

問 DX化することで、夜間や土日に公用車を市民や観光客に貸し出すことはいかがか。

部長 公用車は夜間と土日の頻度はそんなに多くはない。観光客などへの貸出しも視野に入れた中で研究したい。

意見 当市は、車がなくては観光ができない難しい地域。富士宮市は小水力発電で日本一ということもあり、車がなければ来れないのではなく、富士宮市でつくった電気で走る車があるということがアピールできる画期的な材料となる。また、その車をラッピングすることで宣伝することも可能になり、前向きな検討を願う。

公共施設でのキャッシュレス決済について

問 公共施設キャッシュレス決済がどの程度進行するのか伺う。

部長 12月1日から証明書等の手数料に対する決済を開始。今後、他の施設もDX推進計画に基づき逐次推進をしたいと考えている。



うえまつ けんいち
植松 健一
(至誠)

天然記念物万野風穴の有効利用について

問 県は平成22年の調査で、閉鎖されている風穴を再び公開することを提案している。その後の動きがないがどのように考えているか。

部長 県により天然記念物万野風穴保存管理計画が策定された。それにより富士山火山の活動史と文化、自然環境の成り立ちを知る学習の場として提供することが切望され公開に向けての留意事項が示された。しかし、万野風穴が世界遺産の構成資産候補から外れたことから、具体的な検討がなく現在に至っている。この提案を重要なものと考えているが、現状では安全性に確証を持たず、公開に向けての整備は難しいと考えている。

問 現在、万野風穴池田公園は風致公園として機能していないと感じるがいかがか。

部長 風致公園として開設され48年が経過し、樹木の高木化による修景物の視認性の悪化や周辺への折れ枝や落ち葉などの課題もあることから、繁茂した樹木の整理により公園内で休憩、散策をしていただけるよう風致公園としての機能向上を図り、また大変貴重な天然記念物のある公園として適切な維持管理に努めていきたい。

問 今後、近隣の洞窟も含め風致公園として機能させ、さらに観光名所とするための整備を行うてはどうか。

部長 万野風穴の近隣には屋敷穴、弘法穴、窓穴、銀河風穴、観音穴、新万野風穴の6箇所が発見されている。これら万野溶岩流によって形成された溶岩洞窟は、生成時には繋がっていた可能性もあると報告されている。富士山の噴火による溶岩流の特徴を示す大変貴重なものなので、万野風穴池田公園を利用しながら、市内の溶岩洞窟や富士山噴火、溶岩及び自然について学ぶことができるような説明や講座開催などを検討して行きたいと考えている。